



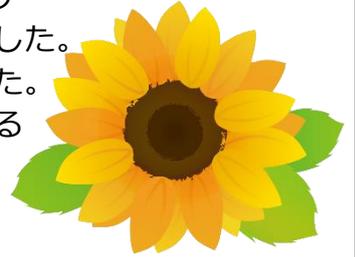
もえた 萌多が丘だより

令和3年8月31日 第129号

平成28年度に創立70周年を迎えました。
一人ひとりの「学び」と「希望」を大切にしている学校
長崎県立西彼杵高等学校



夏季休業が終わり、通常の学校生活が再開されようとした直前、新型コロナウイルス感染拡大の急激な増加に伴い、県下全域に緊急事態宣言が出されました。本校でもそれを受けて、体育祭の延期、再延期をしなければなりません。今の我慢が感染の縮小につながり、学校行事が通常通り実施できる状態になることを祈り、より一層の感染対策に努めながら教育活動を行ってまいります。



さて、今月号では、平和学習やインターンシップなどの8月の行事を掲載しております。ご一読いただけましたら幸いです。

平和への思いを新たに・・・「平和学習」を行いました



令和3年8月9日（日）は平和登校日でした。今年度の平和学習の主な内容は担当からの講話及びDVD視聴でした。担当講話においては、担当教諭より、長崎への原爆投下直後、軍の命令で被爆の様子を撮影していた Joe O' Donnell（ジョーオダネル）氏の戦争体験について語られ、長崎県民にはなじみ深い「焼き場に立つ少年」の写真の撮影の歴史についての話がありました。

その後、『“あの子”を訪ねて～長崎・山里小 被爆児童の70年～』のDVDを視聴しました。そのDVDは1945年長崎で被爆した小学生らが、被爆した後成長していく中で出会った葛藤や苦しみを綴ったドキュメントで、現在の長崎市の様子と被爆当時を照らした映像が流れ、生徒は自分事としてとらえて真剣に視聴していました。



視聴後教室で感想を書き、原子爆弾投下時刻の11時2分に、黙祷を捧げました。



【生徒の感想（一部抜粋）】

* 今回のDVDを見て改めて、戦争は絶対にしてはいけないものだと思います。被爆者の方々のほとんどが家族、友人、家を失い、私たちには想像もできないような苦しみを味わってきたんだと思うと、とても胸が苦しくなります。一瞬で何もかも壊してしまった原爆は二度と落とすしてはならないと強く思いました。（1年女子）

* 爆弾が落ちた後もケロイドや後遺症が残ったりと原爆が落ちても恐怖は残り続けていました。原爆により多くの人の命がなくなり生き残っている人を精神的にも追い詰めて一度きりの人生を破壊したのだと思いました。（2年男子）

* 時間が過ぎれば辛いことは忘れるというけれど、被爆した人は時間が過ぎても被爆したことは忘れないと言っていたことから、それぐらい肉体的にも精神的にも傷が深く残っているのだろうと思いました。（3年女子）



2年生がインターンシップを実施 ~ご協力ありがとうございました~

2年生総合コースの生徒15名が、7月21日(水)~8月5日(木)のうちの3日間、長崎、西海市内の8事業所に分かれて職場体験をしました。生徒は商業施設や福祉施設、消防署、美術館などで貴重な体験をすることができました。お忙しい中、ご協力いただいた各事業所の皆様方、ありがとうございました。

【お世話になった事業所様】※敬称略

- ・(株)イズミ(ゆめタウン夢彩都)
- ・公益財団法人長崎ミュージアム振興財団(長崎県立美術館)
- ・(株)ドラッグストアモリ琴海店
- ・(株)たいら工房
- ・佐世保市東消防署大瀬戸出張所
- ・障害者支援施設大瀬戸厚生園
- ・清蓮社
- ・(株)藤崎工業



【生徒の感想の一部】

- ・どのようなやり方をすると効率がよいのか考えながら、素早く動くことの大切さを学びました。
- ・頼まれた仕事が終わったから終わりではなく、自分から仕事を見つけたり、コミュニケーションを取ったりすることの大切さを学びました。
- ・支援施設の利用者の方にとって、どうしたら過ごしやすいかを考えたとき、自分に置き換えて行動してみるとよいと思い、声掛けを心がけました。進路について、今までは機械を扱う業種に興味をもっていました。今回の経験を通して福祉の仕事にも興味をもつことができました。
- ・どの仕事内容でも必ず金銭が関わってくるため、雑に行動することや自分のペースで動くことができないことを実感しました。与えられた仕事をこなすだけでなく、自分で周囲を見て仕事を探し、行動しなければならないことを学びました。



新・生徒会役員任命式

～より良い西彼杵高校をみんなの手で！～

8月23日（金）に生徒会役員任命式が行われました。

例年、体育館で生徒会役員の任命式を行っていますが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、今年度は放送で生徒会役員の紹介と生徒会長あいさつを行い、放課後、校長室で任命状が授与されました。



【生徒会役員一覧】

生徒会長	2年2組 富口 結乃
副会長	2年1組 榎並 和華菜
副会長	1年1組 岡野 楓果
議長	2年2組 平井 柚菜
副議長	1年1組 園田 心詩
総務	1年1組 本村 莉将

【生徒会企画委員会】

代表	2年1組 豊田 大地
副代表	1年1組 川越 美緒

【長崎県高等学校文化連盟生徒会交流専門部】

生徒委員長	2年1組 榎並 和華菜
-------	-------------

皆さんの中には私が生徒会長に立候補し、役員の代表で挨拶をしていることに驚く人もいるかもしれません。というのも、私は中学生の時、一度も生徒会の役員や専門委員長という役をしたことがありませんでした。人前で話すのが苦手ということと、積極性のある人が多かったので、私がやらなくても他の人がしてくれると思っていたからかもしれません。この挨拶を聞いている皆さんの中にも中学生の頃の私のような人がいるのではないですか？

西彼杵高校は生徒の人数が少ないですが、「学びの共同体」や「西瀨祭」をはじめとする学校行事や部活動など、一人ひとりが活躍できるチャンスがある学校です。しかし、まだそのチャンスをつかむ一歩を踏み出せていない人もいるかもしれません。そのような人たちも私のように一歩を踏み出せるような生徒会活動をしていきたいと思っています。

私は、その一歩を踏み出すためには、まず信頼関係づくりが大切だと思います。私が生徒会長に立候補した時も、迷いや悩みを相談できる友人、一緒に頑張ってくれる友人がいたので、安心して一歩を踏み出せました。信頼関係を築くには人とのつながりが欠かせません。そして、安心して誰もが一歩を踏み出せる場が必要です。そのためにまずは普段の生活から変えていかなければならないと思います。まずは挨拶です。授業時の挨拶はもちろんですが、生徒同士でも「おはよう」と気軽に挨拶しあったり、声を掛け合ったりする関係をつくれるように、普段の生活から心がけてみませんか？また、これから練習や準備が始まる体育祭や、西瀨祭もお互いに声を掛け合ってみんなで力を合わせ、終わった時には、全員が「やりきった」と思えるような達成感が味わえるものを作り上げていきませんか？それには皆さんの協力が必要です。

より良い西彼杵高校になるよう一緒に頑張っていきましょう。

生徒会長 富口 結乃



第1回オープンスクール開催！ ～ご参加ありがとうございました～

令和3年度第1回オープンスクールを8月2日（月）に開催し、中学生28名、保護者9名の参加がありました。少しでも暑さを凌ぐため、午前中に実施し、今年度は各方面から送迎バスを準備し、沢山の方に利用していただきました。

まずは、体育館で全体説明と在校生との座談会が行われました。全体説明では、本校生徒会の生徒たちが西彼杵高校の行事について説明したり、独自の授業スタイルである「学びの共同体」の授業風景を劇で演じたりするなど、中学生が少しでも楽しく、本校の特色を理解できるように工夫して説明しました。また今年度は、県内の大学や企業にそれぞれ進学・就職した卒業生からの、中学生に向けてのメッセージ動画を上映しました。その中で卒業生は、西彼杵高校に進学・卒業したことが自分の人生で大きな財産になっていることを伝えてくれました。その後は、各教科に分かれて模擬授業を行い、実際に「学びの共同体」の授業スタイルを体験してもらいました。中学生は、どの授業にも積極的に参加し、楽しく取り組んでいました。本校の特色や学習スタイルを理解してもらうとても良い機会になりました。



第2回のオープンスクールは10月31日（日）の西濤祭（文化祭）に合わせて開催予定です。本校の魅力の一つである西濤祭を体験できます。今回参加していただいた中学生・保護者のみなさまも含めて、是非、ご参加ください！

9月の主な行事予定

※ 現時点での予定です。一部前号より変更になっております。今後の状況によっては、変更になることがあります。



9/13	月	体育祭	9/18	土	3年対外模試（～19日） 九州地区野球県大会（～10/10）
9/14	火	就職激励会（3年）	9/21	火	人権教育
9/16	木	就職試験開始	9/22	水	考査時間割発表
9/17	金	陸上県新人戦（～19日）	9/29	水	性教育

☆「萌多が丘だより」カラー版を学校ホームページに掲載しております。

<http://www2.news.ed.jp/section/nishisonogi-h/index.html>

